



すぎのこつうしん
平成28年8月 古川東町カトリック保育園

『手を合わせて祈る心を育みましょう』

7月の「ばんび」「ひよこ」「ことり」組の保育参観、たいへんお疲れ様でした。親御さんと一緒ですと、普段の保育園での姿という訳ではなかったでしょうが、子ども達もお父さんお母さんとたっぷり関わりが持て、嬉しかったことだと思います。懇談会では、いろいろな悩み等を共有し合う事が出来たこと、少しでも心が軽くなって帰っていただけたのなら幸いです。

8月の目標は『手を合わせて祈る心を育みましょう』です。私事です、先日、世界遺産である日光東照宮へ行って来ました。たくさんの観光客が参拝していました。“二礼二拍手一礼”説明を下さる宮司さん達に教えて頂き祈りました。外国の方たちも、たくさん来ていて、手を合わせて熱心に祈っている方もいました。宗派に関わらず、あのような場所は神聖な気持ちにさせてくれるでしょう。

保育園では朝の集いの時、手を合わせ“主の祈り”を唱えます。子ども達は驚く程速く覚え、お祈りします。マリア様やイエス様に喜んでもらえる人になれるように。食事の時は、準備してくれた人、食材を作ってくれた人、お父さんお母さん全ての人に感謝をしながら挨拶をいただきます。子ども達は習慣で行っていますが、少しずつ年齢を重ねる毎に意味が理解できるようになることを願っています。

ところが、私達大人は、お願い事は手を合わせてするけれど、いろいろな事に感謝しながら手を合わせることはないように思います。子ども達と一緒に、日々感謝をし、手を合わせる心を育てていきましょう。

< 園長 平野 義子 >

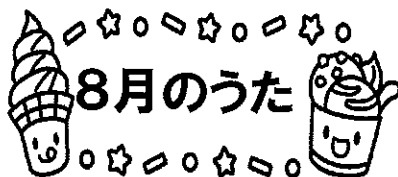


- 4日(木) 静修の日(3, 4, 5歳児)
5日(金) 西瓜割り大会(縦割り保育3, 4, 5歳児)
13日(土)・15(月)・16(火) お弁当の日
19日(金) 誕生会



8がつまれのおともだち

おたんじょうび おめでとう

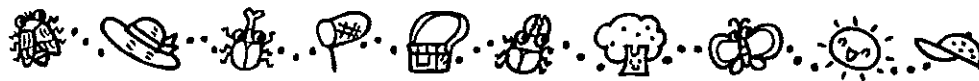


「アイスクリーム」

アイスクリーム アイスクリーム どこからどこら
なめよかな とけちゃうよ でも どこからなめよかな

「神様がわかるでしょう」

- ①美しいこの空を 愛らしいこの花を 浮かんでる白い雲 香りよき青草を
じっと眺めるだけで ただ眺めているだけで ほら君もわかるでしょ 神様がわかるでしょう
- ②ある時は涙ぐみ いつの日か夢に見た 心には愛もなく 過ごしてる時がある
じっと祈った時も ただ祈っていた時も ほら君もわかるでしょ 神様がわかるでしょう



< お父さんお母さんから >

○が入園したのは9ヶ月頃で、震災後すぐだった為、離れることにとても不安でした。毎日、泣いてばかりで慣れるまで2~3ヵ月かかり先生方も大変だったと思います。そんな○にも弟ができ、私が忙しく構ってあげれず「コメンね」と言った時、「大丈夫、ママがんばって、○がママを守ってあげる」と言ってくれた言葉に思わず涙が出たのと同時に成長している姿にも嬉しく思いました。今では弟の面倒を見てくれたり、お手伝いをしてくれたりと頼もしいお兄ちゃんになりました。それも先生方や、お友だちとの関わりの中で色々な事を学び感じ取ってこれたからだだと思います。卒園までの保育園生活でも沢山の思い出を作ってほしいです。

(ひつじ組 ○○○くんのお母さん・○○○○さん)



クラスだより

ばんび組(0歳児)

- <ねらい> ・手を合わせて祈ることを知る
・暑い夏を快適に過ごす
- <家庭連携> ・食事の前後の挨拶やお墓参りなど、大人が手を合わせることで子どもが真似をして表せるようにしましょう
・暑さから疲れが出て体調を崩しやすいので、休みの日はゆったりと過ごすように心掛けましょう。また、休みが縮く時は生活が不規則にならないよう、生活リズムを大切にしましょう

ひよこ組(1歳児)

- <ねらい> ・日常生活を通し、手を合わせて祈ることを知る
・夏ならではの遊びを十分に楽しむ
- <家庭連携> ・お盆にお墓参りする時や挨拶をする時に手を合わせて祈れるよう、一緒に行いながら知らせていきましょう
・十分な休息をとり、『はやね、はやおき、あさごはん』を心掛けることで水遊びなどを楽しめるよう健康に留意しましょう

ことり組(2歳児)

- <ねらい> ・手を合わせて祈ることを知る
・暑い夏を元気に過ごす
- <家庭連携> ・食事の前後やお盆のお墓参りを通して、手を合わせて祈ることを知らせましょう
・暑さや水遊びで疲れやすくなるので、家庭でも十分な休息をとり、健康に過ごせるようにしましょう

こねこ組(3歳児)

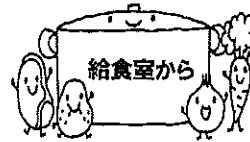
- <ねらい> ・手を合わせて祈る心を育む
・食事のマナーを守ろうとする
- <家庭連携> ・お墓参りなど、静かに手を合わせて一緒に祈る機会を持ちましょう
・正しい箸、スプーンの持ち方や姿勢等、手本を見せながら食事のマナーを知らせましょう

うさぎ組(4歳児)

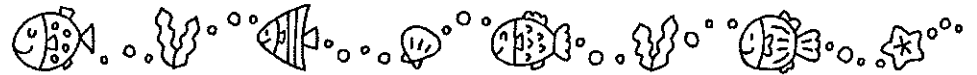
- <ねらい> ・祈ることの大切さがわかり、心を込めて祈る
・休息の取り方を知り、体を休める必要性がわかる
- <家庭連携> ・お墓参りを通して、祈る意味や仕方を知らせてみましょう
・暑さや水遊びで体力の消耗が激しくなるので、十分な食事や睡眠をとるように知らせていきましょう

ひつじ(5歳児)

- <ねらい> ・心を込め、自ら祈る
・目標を持って活動し、いろいろな事に挑戦する心が育つ
- <家庭連携> ・お墓参りや仏壇に手を合わせる機会には、心を込めて祈るよう知らせましょう。また、食事の挨拶も丁寧に祈る習慣をつけていきましょう
・運動会の練習が始まります。朝ご飯をしっかり食べ、休息をとらせて下さい



「いただきます」「ごちそうさま」食材やすべての人々に感謝の気持ちを込めて、みんな一緒に手を合わせます。感謝する心を育む大切な時間だと思っています。ご家庭でも、みんな揃って手を合わせ、食事の挨拶をしてみたいかがでしょうか。



<手を合わせて祈る心を育みましょう>

「天国ではげんきなカエル(ちょうちょ)になってね」「ちょうちょ(カエル)にしてあげられなくてごめんね」マリア像の右奥の教会の角には、ひつじ組で作ったお墓があります。何のお墓...!?それはひつじ組で可愛がっていたにも関わらず生きることができなかった生き物たちのお墓です。そのお墓作りで、石には何と書かか聞いてみると、「虫たちのお墓」とは返ってきませんでした。「大切な仲間のお墓」と名付けられた前で手を合わせ「ごめんね」と謝り、「げんきに遊んでね」と祈る子ども達。花を供えたり、天国でおなかのすいたら大変とエサと一緒に埋めてあげる子もいました。子ども達のそんな優しい気持ちに触れ、一緒に悲しみを感ずる瞬間でした。「手を合わせて祈る」というと難しく考えがちですが、こういう身近な所からでいいと思います。

祈ることを、何かを買ってほしいから、してほしいからの欲求のために使うのではなく、大切な人のため、事のために祈る大切さを知らせていけたらと思います。そして、親子で手を合わせ一緒に祈る時間を作ってみるのもいいかもしれませんね!!

(ひつじ組担任 岡崎 ひとみ)

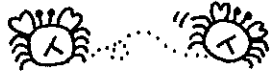


・8月13日(土)15(月)16(火)は、給食室の大掃除を行うため、お弁当になります。0歳児の離乳食もお弁当になります。すべてに名前を記入し、スプーンや箸も持参して下さい。

・登降園時間記入表に水遊びチェック表を添付しています。お子さんの体調を確認し必ず記入して下さい。また、髪の高い女児は、頭の高い位置に結ぶようにして下さい。

・8月はボックスステッシュー箱を集めます。宜しくお願いします。

・8月9日より鈴木香織調理師が給食室に入ります。宜しくお願いいたします。



あなたの一分間拝借！



人間は祈る動物であるといわれます。食べたり、飲んだり、寝たり、子育てをしたりするだけなら、他の動物と何ら変わりはありません。動物と違うところ、それは『宗教性』が与えられている点です。聖書によれば、人間は神の似姿として創られた存在であることがわかります。唯肉体だけで生きているわけではありません。肉体は土と同じ化学元素で成り立っているに過ぎず、生きているということは神の息吹である靈魂の働きがなければ、肉体的内的仕組みは働かないことに目覚めましょう。靈魂は、命の源になるもので不滅のものです。その靈性は神の「かたどり」であり、肉体と一体となり、人間と神との深い関わりを持っている力です。人は誰でも神を知り、信じ、愛するように招かれている所以(ゆえん)がここにあるのです。イエスも『人はパンだけで生きるのではない、神のみ言葉によって生きる！』と仰せられたことは、人が心も体も聖であるように、私という存在を与えて下さった御方のみ旨(みむね)に適った人生を歩まれるようにとの心訓ではないでしょうか。それはあたえられた各自の靈性を活用し、こころの奥底に眠れる宗教心を目覚めさせ、神との関わりを生活の軸にして努力するにほかなりません。

8月の目標は、『手を合わせて祈る心の育成に力を尽くしましょう！』です。

手を合わせて祈る心を大切にするように保育したら最高の8月になります。重要なことは、手を合わせてはいけないものに神として手を合わせる事のないように気をつけることです

人間は誰でも祈る心を神から頂いております。空気を吸って生きているように、神の息吹を吸って生活するところに喜びを分かち合う力が、苦しみを乗り越えるエネルギーが与えられるのです。弱者の痛みも理解できる人間に成長していくことと思えます。祈りはまさに子どもや老人たちや病める方々の専売特許ではありません。祈りは、神と挨拶し、ありがとうと感謝をし、間違ったことがあれば赦しを願い、神のみ旨(みむね)に適う世界を目指して生きるように与えられた宗教心を正しく活用して、神と対話することにほかなりません。

カトリック古川保育園の目標『四つの心、挨拶・ありがとう・謝り合う・与え合う心』は人間同士だけで終わってはなりません。人間と「いのち」を与えてくださった御方即ち神との関わりに繋がってこそ、はじめて生かされることですから中途半端にならないように生涯課題としてうけとめてほしいものです。

イエスは次のように仰せられて弟子たちを諭されました。

求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい、そうすれば見つかる。

門を叩きなさい、そうすれば開かれる。誰でも求めるものは受け、探すものは見つけ、門を叩くものには開かれる。〈マタイ 7-7〉

わたしに向かって「主よ、主よ。という者が皆、天の国に入るわけではない。私の天の父の御心を行う者だけが入るのである。」〈マタイ7-21〉

天の父なる神の御心に適った祈りを生きている人は、自然を破壊したり、環境汚染の行為を平気で行ったりしません。自然環境保護者でなければならないのに山や川、海にゴミを捨てたり、町の公共物を粗末に扱ったりいたしません。目の欲、肉の欲、生活の驕りに負けないで、尊い命を与えて下さった御方の愛に答えて生きなければならぬと思えます。



＊祈りの心で生きる人は、家庭でも、職場でも、他者の心を傷つけるようなことはいたしません。

＊よく祈る人は、他人の悪口、陰口、中傷したりしません。

＊よく祈る人は、金銭をごまかしたり、借りたものを返さなかったりしません。

＊よく祈る人は、父母の正しい指示に喜んで従うものです。何よりも大切にします。

＊よく祈る人は、約束事を忠実に果たします。

＊よく祈る人は、偽証して信頼を失うようなことをいたしません。

＊よく祈る人は、不倫をしたり、離婚などのトラブルを起こさないものです。

＊よく祈る人は、弱い立場にある人々への理解が深く、慈愛に満たされています。

＊よく祈る人は、困難を乗り越える力が与えられます。神との一致の道が開かれます。

＊よく祈る人は、罪や過失を犯した時でも、回心の心があれば、和解の恵みをお与えになります。



なお、私たちが祈る時に心掛けること、それは……

①愛であり、正義にまします、天地万物の創造主である神を信じる事

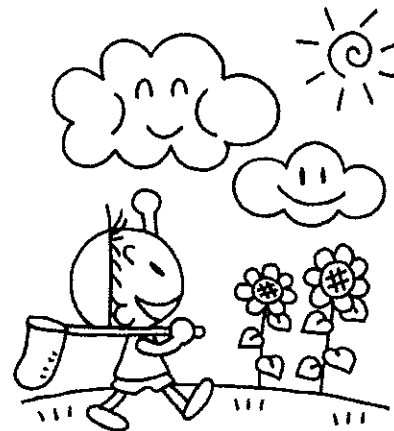
②人間は被造物であることを心で受け止め謙虚の姿勢をもってお願いする事(あなたの思し召しのままになりますようにという「へりくだりの精神」が求められていることに目覚める)

③熱心に祈ること

④忍耐を以て犠牲さへ神に捧げるということ等々です。願いが叶った時には感謝の祈りを忘れないことですね！

神が全能でも、出来ないことがあります。それは、私たちの救いは私たち自身が神の御心に適った人間になるよう努力しなければ、祈りの効果はあり得ないということです。

幼児のような純粋な心で感謝と賛美を捧げる時、恵みで満たされる！



カトリック古川教会司祭
川井 啓